

健康ぷらざ

No.360

企画:日本医師会

結核 — 過去の病気と思われがちですが…

日本で結核にかかる方は人口10万人あたり18.2人(2010年調べ)ですが、他の先進諸国の5人前後に比べてまだまだ多いといえます。

結核はうつったかどうか自分でもわからずに菌が残っていることもあるため、

高齢の方では、免疫力低下によって発症することがあります。

そのため、患者数がなかなか減りません。

一方、今まであまり結核菌にさらされなかった

青年層の結核が目立ちます。

結核は感染症なので、咳やくしゃみで周囲の人につります。

密閉された乗り物や部屋の中では遠くでもうつります(空気感染)。

初めはカゼの症状に似ていますが、

咳や痰、微熱が2週間以上続く、体がだるい、などが結核の特徴です。

症状が進み、咳や痰に菌が含まれ、他人にうつす可能性が出てくると

入院しなくてはなりません。

おかしいと思ったら、早めにかかりつけの医師を受診しましょう。

